

あんじつ通信

ANJITSU TAKANAO

創刊号 2014年1月発行

新年あけましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりありがとうございました。白山市政へ送り出していただき10か月余り、日頃のご支援に改めて感謝申し上げます。皆様のお声をお聞きしながら議員活動をしておりますが、新人議員ということで、まだまだ勉強の日々でございます。

白山市も合併10年目を迎える節目の年となり、行財政改革に取り組みながらも市民や地域の声をしっかりと受け止めて、市民と共に歩む政治を実行して行かなければと思っております。

まだまだ微力ではございますが、白山市と地域の発展に全力で取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻賜ります様よろしくお願い申し上げます。

安実 隆直



議席番号3番

昨年の市議会報告をさせていただきます。

白山市議会だより 第33号

6月定例会一般質問



安実 隆直 議員

質問 本市への誘客を図る新幹線開業白山ブランドPR戦略の策定状況は。白山スーパー林道の名称変更と無料化を検討しては。

市長 金沢市長と「加賀藩と霊峰白山」という共通テーマで合意し、広域観光連携の協議を進めたい。スーパー林道の名称変更は岐阜県、石川県の両県に一任し、料金の引き下げも両県へ要望していく。

小水力発電の普及・推進 本市最大の資源である水を活用した小水力発電を普及、推進し、電力供給都市を目指しては。

市民生活部長 産学官共同で小水力発電を含めた再生可能エネルギーの調査研究を支援したい。



農業用水を有効利用した七ヶ用水発電所

農業振興策 担い手育成や認定農業者等の独自支援と6次産業化を推進し、力強い産業にするための「農業戦略」が必要では。

産業部長 石川農業青年会議やJA部会などの活動を支援しており、6次産業化も推進していく。

また、地域水田農業ビジョンを本市の農業戦略として関係団体が一体と

Q 北陸新幹線開業白山ブランドPR戦略の策定状況は

A 「加賀藩と霊峰白山」をテーマに金沢市と観光連携

なり、協議、調整をしていく。

地産地消

質問 学校給食での地元食材の導入効果と農林水産物ブランド化の推進体制は。また、農産物品を販売する「道の駅」整備方針と活用、運営は。

産業部長 今年度新たに6月を白山の恵みを食べよう月間とした。平成20年度との重量比では約5倍に伸びている。ブランド化による高付加価値が進み、販売額が増額している。

建設部長 国道8号沿線で検討している道の駅には、農産品等の物販施設の整備が不可欠と考えており、整備検討協議会で検討していきたい。

小水力発電 推進しては

安実隆直氏（白政会）
小水力発電の推進へ可
能性の調査を実施してい
るのか。



安実隆直氏
動向を注
視した

竹内市民生活部長 鳥
越地区で土地改良区が施
設の大まかな設計と、概
算工事費の算出などの調
査を行っ
ている。
い。
安実氏 生産者、行政、
JA、農業団体が一体の
農業戦略が必要だ。現場
の声を反映せよ。現場
宇野産業部長 現場の
声も聞き水田農業ビジョ
ンを協議している。

加賀藩と霊峰白山 テーマに

白山市議会6月定例会は14日、本会議を再開し、6氏が一般質問した。作野広昭市長は答弁で、「加賀藩と霊峰白山」をテーマにした観光連携で金沢市と合意したことを明らかにした。月内にも協定を調印する方向で調整を進めている。金沢の歴史文化と、白山信仰や白山の自然の魅力を組み合わせることで、北陸新幹線開業をにらんだ観光誘客を強化する。安実隆直氏（白政会）の質問に答えた。

市議会一般質問

白山市と金沢市は近
隣4市町とともに新幹
線金沢駅周辺地域連絡
会を組織し、観光誘客

に取組んでいる。
白山市は新幹線開業
に向けた誘客戦略で

は、全国的な知名度を
持つ金沢市との連携強
化が重要な鍵を握ると

判断。金沢市に働き掛
け、白山と加賀藩にテ
ーマを絞った連携事業
に取り組みむことと合意

の共同プロモーション
した。
想定される連携事業
として、金沢―白山の
広域観光ルートの設定
及び商品化、首都圏で

白山 金沢と観光連携

ン、観光ガイドやマッ
プの共同作成、バスや
タクシーなど2次交通
の整備、宿泊業など事
業者同士の連携などが
挙がる。

金沢市プロモーション
推進課によると、金
沢市を訪れる観光客の
中には富山県の立山黒
部アルペンルートも訪
れる人が相当いるとい
う。同課は「金沢には

ない白山という高山の
魅力を活用すること
で、観光客の滞在時間
を増やしたい」として

月内にも協定調印

白川村と連携
値下げを要望
スーパー林道

作野市長は白山スー
パー林道の料金引き下
げについて、岐阜県白
川村と連携して石川と
岐阜両県に要望して
いく考えを示した。
安実氏が無料化を提案
したことに對して答え
た。

白山市は4月に白川
村と観光都市交流協定
を締結し、9月にはス
ーパー林道をコースに
組み込んだ白山・白川
郷100キロウルトラマ
ラソン（北國新聞社後
援）を開催する。

作野市長は能登有料
道路の無料化が沿線の
観光地に好影響を与え
ていると指摘し、無料
化については料金引き
下げを実現した後の次
のステップと位置付け
ていると説明した。

観光PR 金沢市と連携

白山市長「共通テーマで合意」

市議会一般質問

白山市の作野広昭市長は十四日の市議会定例会一般質問で、北陸新幹線金沢開業を約二年後に控え、金沢市と連携して開業PRに力を入れ、市の観光戦略にも盛り込む考えを明らかにした。安実隆直議員の質問に答えた。



作野市長は、開業PRについて「金沢市と域観光連携の内容を協同している」と明らかにし、今後、具体的な広域観光連携の各事業部会長や学識経験者で戦略策定委員会を組織し、七月に中間報告を行い、八月末までに

「戦略」の策定に向け、市観光連盟の各事業部会長や学識経験者で戦略策定委員会を組織し、七月に中間報告を行い、八月末までに

策定する」と見通しを語った。内容について、首都圏での観光PRブース出展や広報宣伝活動、旅行商品の開発、二次交通の確立などを挙げた。

白山麓への観光戦略の一環として、白山スパー林道の名称変更や通行料金の無料化の検討を問う質問には、

交流協定を結んだ岐阜県白川村との連携を基に「名称変更は、白川村と協議し、(石川と岐阜の)両県に一任することとしている」。

【常任委員会の組織】

産業建設常任委員会



- | | |
|-------|--------|
| 宮岸 美苗 | 藤田 政樹 |
| 寺越 和洋 | ◎石地 宜一 |
| 北嶋 章光 | ○安実 隆直 |
| | 竹田 伸弘 |
- 【所管】
 ・産業部、観光推進部、建設部、
 上下水道部、農業委員会の所
 管に属する事項

◎委員長
 ○副委員長

農村開発の簡素化図れ

安実隆直氏（白政会）
農村集落におけるまちづくり開発は協議会の合意が必要。制度の簡素化がでないか。



安実氏 農業政策の大転換への対応は。作野市長 日本型直接支払い制度の創設では、地方に負担が及ばないよう申し入れた。国の動向を見極め、農業団体の情報共有する。

長谷川建設部長 住民の合意は書面で確認しているが、総会での合意に「変えるな」と柔軟に対応したい。

薬用植物の産業化支援

白山市議会一般質問

市、耕作放棄地あっせん

白山市議会定例会12月会議は11日、本会議を再開し、4氏が一般質問した。市側は薬用植物栽培による新しい産業創出のため、栽培用地あっせんで民間事業者に協力する考えを示した。耕作放棄地や旧スキー場跡地を候補地として調整する。安実隆直氏（白政会）の質問に宇野泉産業部長が答えた。

白山市内では白山麓を中心に耕作放棄地が約15珍あり、農家の高齢化などで増加傾向にある。一方、白山市内の企業「くさのね」が金大や県立大の協力を受けて漢方薬の原料となる薬草「センキュウ」の栽培を県内の耕作放棄地で行っている。市は耕作放棄地やスキー場跡地の有効活用につながるとして協力することにした。

白山市内では白山麓を必要になるものの、市は地権者と事業者を仲立ちし、本格栽培を後押ししたい考えだ。宇野部長は白峰地区で広葉樹「ホオノキ」を期待感を示した。

少ない提案に不満 「管理職が言わないのか、自らの意識がないのか」と不満を口にしている。安実氏の質問では職員の仕事改善提案が最近2年で10件前より増え、10件前後と少ないことが取り上げられた。作野市長は以前は100件を超えていたことを明かした。

記者席